学校番号	３００７

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　標準文学国語(第一学習社)						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・「読む能力」を向上させましょう。
・コミュニケーションのための「話す・聞く能力」と「書く能力」を高めましょう。
・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働する活動を行います。
・予習として本文を読んでおきましょう。授業後は内容を振り返り、できない個所をできるように練習しておきましょう。
・宿題、提出物について、丁寧に、間違いなく仕上げましょう。期日までに提出することは厳守です。
・授業中のノートは板書を書き写すだけでなく、気づいたことやクラスメイトの意見、その日のポイントなどを積極的に書き込みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)．生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2)．生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
(3)．言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
(4)．実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(5)．論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(6)．言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ［教材］ 調律師のるみ子さん	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 書 ］：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：「るみ子さん」の身に起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	ワークブック 定期考査 小テスト ノート	ワークブック 定期考査 ノート	ワークシート 発表 ノート 振り返りシート
	文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ［教材］ デューク	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 b［ 読 ］：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：主人公の悲しみが表現されている部分を注意深く読み取り、自分なりの悲しみの表現を積極的に考え、発表しようとしている。	ワークブック 定期考査 小テスト ノート	ワークブック 定期考査 ノート	ワークシート 発表 ノート 振り返りシート
	比喩の構造や視点の転換を考察し、題名を意識しながら詩が提示するメッセージを考える。 ［教材］ 食事	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b［ 読 ］：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	ワークブック 定期考査 小テスト ノート	ワークブック 定期考査 ノート	ワークシート 発表 ノート 振り返りシート
	内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ［教材］ バグダッドの靴磨き	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 書 ］：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：時系列に沿って登場人物間の関係や心情を粘り強く読み取り、「僕」の発言の背景を理解しようとしている。	ワークブック 定期考査 小テスト ノート	ワークブック 定期考査 ノート	ワークシート 発表 ノート 振り返りシート

	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ［教材］ 「富嶽百景」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:表現に着目しながら積極的に作品を読み取り、理解を深めようとしている。	ワークブック 定期考査 小テスト ノート	ワークブック 定期考査 ノート	ワークシート 発表 ノート 振り返りシート
	表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 ［教材］ 「山月記」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　書　]:文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c:登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	ワークブック 定期考査 小テスト ノート	ワークブック 定期考査 ノート	ワークシート 発表 ノート 振り返りシート
	出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 ［教材］ 「血であがなったもの」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:戦争の体験をどう意味づけるべきか考えるために、出来事の経緯や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。	ワークブック 定期考査 小テスト ノート	ワークブック 定期考査 ノート	ワークシート 発表 ノート 振り返りシート
	仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 ［教材］ 卒業	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:寿々をめぐる人間関係について、共感できる表現を積極的に探し、その理由をわかりやすく発表しようとしている。	ワークブック 定期考査 小テスト ノート	ワークブック 定期考査 ノート	ワークシート 発表 ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　100　）時間